

いちのみやし男女共同参画情報紙

いーぶね

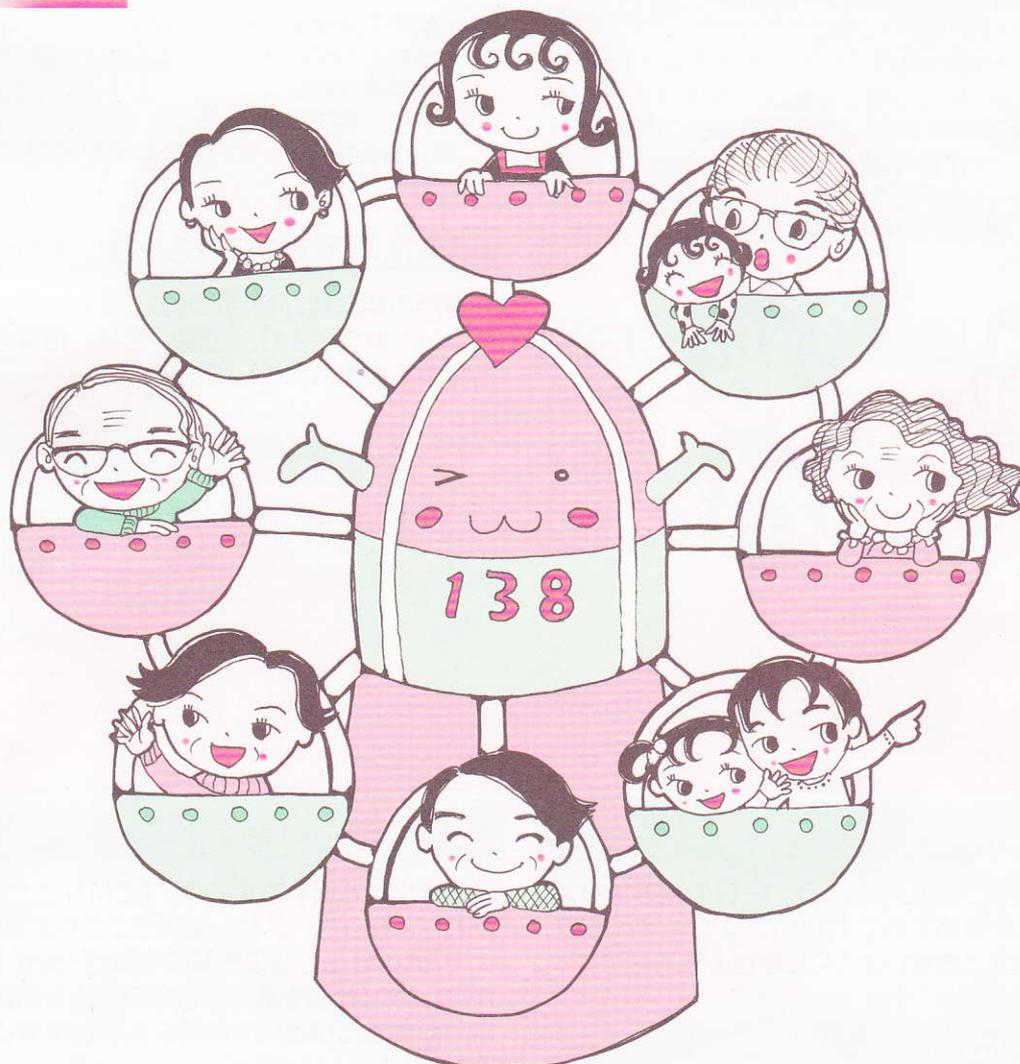
● 素敵なパートナーになるために ●

第35号

平成27(2015)年11月

特集

ママの再就職を応援します！



結婚や出産、子育てなどで仕事を離れたけれど、子育てに一区切りついたらまた働きたいと考えている女性も多いのではないのでしょうか。

「家事や子どものことを考えると働けるか心配。」「空白があるけど、仕事はあるかしら…。」など、再就職には、様々な不安が立ちまわります。

そこで、今回の特集では、子どものいる女性が再就職を考える際、知っている役立つ情報をまとめてみました。



ママの再就職を応援します!

就職に関する情報を集めたい!

自分に合っている仕事を知りたい!

「そろそろ働こうかな…」と思った時が再就職のタイミング!
まずは、いつから、どんな仕事をしたいのかを考え、就職に関する情報を集めましょう!

● あいちマザーズハローワーク

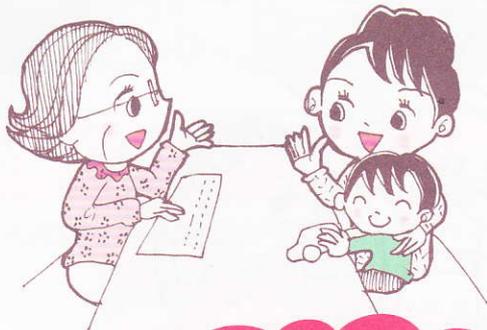
子育てをしながら再就職を希望する方を中心に就職支援を行う施設で、職業紹介・職業相談・各種セミナーを実施しています。ベビーチェアを備えた相談窓口や、お子さんを遊ばせながら求人検索できるキッズコーナーなどがあります。

○場所: 名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル23階
(名駅から徒歩10分)

○開所時間:

- ・月曜～金曜: 午前8時30分～午後5時15分
- ・第2・第4土曜日: 午前10時～午後5時
(日曜日・祝日・年末年始除く)

○問い合わせ先: 電話052-581-0821



家庭と仕事、両立できる?

ママの再就職は家族の一大転機! 家族の協力を得て、
家庭も自分も大切に、あなたらしい働き方をしましょう!

● 分担しよう!

家族全員で家事を分担しましょう。一日の家事をリスアップして、担当を決めてみるのもいいですね。すべて自分で…と一人で抱えこまないようにしましょう。

● 完璧を求めない

専業主婦の頃と同じように完璧に家事をこなしていると、疲れきってしまうことも…。食材の宅配、食洗機、ロボット掃除機、乾燥機を利用するなど、時間を短縮できることは積極的に活用して、楽しく家庭と仕事の両立をしましょう。

● 就職支援フェア in いちのみや

自分の適性や就業経験などに応じた職業選択をするためのイベントです。

- 対象: 39歳以下の方
- 日時: 平成27年11月20日(金) 10時から16時
- 場所: 尾張一宮駅前ビル(i-ビル) 6・7階
- 内容:
 - ・就職支援セミナー(予約優先)
 - ・キャリアカウンセラーによる個人相談(予約優先)
 - ・職業適性診断
 - ・合同企業説明会
- 問い合わせ先: 一宮市経済振興課 電話28-9130

● 女性職業適性相談 (職業の斡旋はしていません)

専門の相談員が個別に相談に応じます。また、相談に関連し、必要により、知能、性格、職業興味等に関する各種適正検査も実施しています。

- 対象: 一宮市在住・在勤の19歳以上の女性
- 日時: 原則毎月第4土曜日 午前9時～午後4時
- 場所: ききょう会館 5階 相談室
- その他: 事前に電話にて予約が必要
- 問い合わせ先: 一宮市働く婦人の家(ききょう会館)
電話 73-9100

● 働く理由を考えよう!

働き出して慣れるまでは、「こんなことなら再就職しなければよかった…」なんて思うこともあるかも。

そんな時「子どもの教育費を稼ぎたい」「社会との接点 that 欲しい」「仕事を通じて自分の能力を発揮したい」など、自分が働きたいと思った理由を思い出すことで、頑張れるかもしれませんね。



子どもを預けるのが、心配で…。

子どもを保育園に預けるとき、子どもとのコミュニケーションの取り方、預けるときポイントについて、一宮市中央子育て支援センターの保育士に話を聞きました。

● 預ける前は、めいっぱい一緒に過ごそう

働き出す前のママから、「子どもを預けるために、離れる練習をしないと」というお話を聞くことがあります。これは発想が逆です。お子さんが「甘えたり、やんちゃを言ったりしても、ママは自分を愛し受け止めてくれる」と感じられるようになることで、ママとの関係が十分に築け、ママがいない時間も受け入れられるようになります。無理に離れる練習をするのではなく、お子さんとめいっぱい触れ合うようにしましょう。

● 生活リズムを整えよう

保育園に預ける前に、お子さんの生活リズムを整えておくが良いです。特に、夜寝るリズムを整え、スムーズに保育園での生活に入れるようにすると良いですね。



● 保育園に預けるとき、子どもがぐずったら

お子さんは保育園に預けられるとき、一時的に泣いたりぐずったりします。そんなとき、パパ・ママが心配でなかなか離れられないと、お子さんも不安になってしまいます。あとは保育士を信頼し、任せましょう。

仕事から帰ってきたときは、まずは「ただいま。お仕事頑張れたよ。待っていてくれてありがとう。」とお子さんに感謝をし、ぎゅっと抱きしめてあげてください。

● 保育園と一緒に子育てをする気持ちで

保育園に預け始めてからは、保育園でのお子さんの様子を保育士に聞いたり、パパ・ママの思いも保育園に伝えたりしながら、家庭と保育園と一緒に子育てをしていくようにすると良いですね。不安なこと、わからないことがあったら気軽に保育士に相談してくださいね。

いざというときの 子どもの預け先が知りたい

子どもが病気になったり急に仕事が入ったりしたときなどに備え、子どもの預け先をたくさん知っていると安心です。周りの人に頼めないときの保険のつもりで、病後時保育やファミリー・サポート・センターなどに登録しておくのもいいですね。

● 病後児保育（事前登録が必要）

病気の回復期で、集団保育が困難なお子さんを、病後児保育室でお預かりします。

- 利用日：月～金曜日
(連続5日以内。土日祝休日、年末年始除く)
- 対象：市内在住、生後6ヵ月から小学4年生までの児童
- 利用料：一日につき2,100円(食費含む)
- 実施施設：各定員3名
 - ・ひまわり(木曽川町黒田 神明保育園内)
電話 28-8983
 - ・アートチャイルドケア尾張一宮保育園
(森本5丁目) 電話 26-0568
- 問い合わせ先：一宮市保育課 電話 28-9025
- ※施設の空き状況の確認、利用の予約は直接各施設に電話してください。

● いちのみやファミリー・サポート・センター (事前登録が必要)

子育ての手伝いをしてほしい方とお手伝いをしたい方がお互いに助け合う組織です。

- 対象：市内在住・在勤・在学の0歳から小学6年生のお子さんをお持ちの方
- 内容：保育園や学童保育等の送迎、援助会員宅での預かりなどに活用できます。
[例えば…]
 - ・急な仕事でお子さんを迎えに行けないとき
 - ・講習会や冠婚葬祭などお子さんを連れて行けないとき
 - ・学校の夏休みのとき など
- 利用料：一時間あたり700～900円
- 問い合わせ先：一宮市中央子育て支援センター内
いちのみやファミリー・サポート・センター
電話 28-9772

いーぶんネットワーク

一宮市内で活躍する女性団体を紹介します。
第5回は「一宮市女性農業者会議」です。

私たちは農業の技術や情報の交換をし、農家生活を充実させることを目指して、平成3年に「一宮市女性農業者会議」を設立しました。会員は「農家の嫁」ということでもあって、設立当初には「忙しい上に、女がそんなことできるのか。」などと家族に言われることもありましたが、みんな時間をつくって活動を続けていました。

そんな中、十数年放置されていた丹陽地区の水田を、力を合わせ地道に葎や雑草をとることで、コスモスの花畑につくり変えました。5,000㎡の花畑は圧巻で、「あんな荒れ果てた土地がきれいな花畑になった。」「女性の力はすごい!」と地元の人や子どもたちにも驚かれました。その後はお花見会を開催したり、定期的なコスモスやれんげの種まきをしたりしていましたが、会員の高齢化などもあり、4年前からは実施していません。その代わりに、花畑活動の縁もあって、丹陽南小学校で豆の栽培から豆腐や味噌作りなど食育の指導をするようになりました。現在では市内3校の食育に協力しています。

現在の主な活動は、毎週土日に朝5時半頃から本町通商店街(幼稚園駐車場)で開催している朝市です。地元で栽培した新鮮で旬な野菜などを、地元の方に提供することを目指して平成13年から続けています。冬の寒い時期などはとても辛いのですが、毎週朝早くから待っていてくださるお客さんにお会いでき、喜んでもらえる、やっつけて良かったなあとうれしく感じます。



それ以外の活動は、市のイベントなどでの自家農産物や手作り加工品の販売、食品加工などさまざまな研修会も開催しています。現在会員は24名です。60~70歳の方が多いのですが、30代の方もいます。今後も仲間の輪を大切にして、息の長い活動をしていきたいと思っています。

活動に興味をお持ちの方は、以下にお問い合わせください。
0586-28-9136(一宮市農業振興課 農産グループ)

DV(ドメスティック・バイオレンス)の相談窓口 ~ひとりで悩まないで~

配偶者や恋人からの暴力で悩んでいませんか? ひとりで悩まず、困ったときには次の窓口をご利用ください。

○一宮市<女性悩みごと相談>

先着受付順(予約なし)。電話相談も可能(混雑時は来所の方優先)

0586-28-9149 本庁舎2階 子育て支援課

(月~金曜日 午前10時~12時、午後1時~4時30分、土・日曜日、祝日、年末年始は休み)

○愛知県女性相談センター

※電話相談 052-962-2527

(月~金曜日 午前9時~午後9時、土・日曜日 午前9時~午後4時、

祝日、年末年始は休み)

※面談相談(予約制)

電話相談の後、必要に応じて女性相談員が行います。

(火~日曜日 午前9時~午後5時(水曜日は午後8時30分まで)

月曜日、祝日、年末年始は休み)

○内閣府男女共同参画局<DV相談ナビ>

お近くの相談窓口へ電話が自動転送され、直接ご相談いただけます。

0570-0-55210(全国共通)



『いーぶん』は「男女共同参画」に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。

『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

編集協力者/岡西 美子、横井 秀子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者/後藤 明美

編集・発行/一宮市企画部企画政策課

〒491-8501 一宮市本町2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128

eメールアドレス kikakuseisaku@city.ichinomiya.lg.jp ウェブサイト <http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>

*企画政策課のウェブサイトでは、『いーぶん』のバックナンバーをご覧いただけます。

*『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については企画政策課にお問い合わせください。